



ボルティセラ

単独で存在し、柄の中に軸系を持つ。ボルティセラの種は多いが、囀口部の大きい種類ほど繊毛による大きな水流をつくれるため浮遊細菌(SS)が少なくても存在できる。アスピデスカとともに出現率、出現数が多く創成川水再生プラザの反応タンク微生物の代表格と言える。



アスピデスカ

良好に向かう頃から解体に至るまで優占種になりうるほど出現する。DO(溶存酸素)の減少には敏感に反応し、個体数が激減する。本種が優先することが多く、ボルティセラとともに代表的な生物の一つである。



ロタリア

ロタリアは足指が3つで眼点が吻状突起の上であり、フィロディナは足指が4つ、脳に眼点があるところで区別するが、一見しての判別は難しい。どちらも解体気味なところから解体が進行したところまで観察される。出現率は高いが1mlあたり50~200個程度である。



カルケシウム

柄の中に軸系を持つが、軸系は不連続である。出現は処理が良好中の最良期が多く、群体個体数が多いほど良好である。しばしば出現するが優先することはない。



トコフィリア

吸管は束になって2箇所あるいは4箇所からまとまって生じている。特徴は柄が細長く、吸管が頭頂にあること。出現率は高い。



モノスティラ

虫体は卵形で、被甲が背腹に扁平で1本の趾を持つ。出現は流入水濃度が非常に低く、負荷が極端に低い場合とされる。出現率は低い